

4 大馬越小学校の実践

(1) これまでの具体的な取組

あいさつ

本校では、キャッチフレ－ズに「汗と読書とあいさつで心の光る学校」とあるように、あいさつは特に力を入れているものの一つである。



ア あいさつ先手運動

4月当初から、毎朝学校長が安全指導を兼ねて、あいさつ指導も行っている。あいさつ指導については、具体的に初級（明るく元気に）中級（おじぎして明るく元気に）上級（立ち止まっておじぎして明るく元気なあいさつ）と段階ごとに設定して、できるようになった児童には、学期ごとに学校長が認定証を作成して渡している。

イ 地域との連携

本校の目の前に国道328号線があり、交通量が多いことから安全指導も兼ね、月に1回地域の方が交替で校門に立ってあいさつ運動を実施している。地域のほかに、毎月第1月曜日には、民生児童委員の方があいさつ運動を行って来ている。また、自主的に校門であいさつ運動をおこなってくださる地域の方もあり、大変ありがたく思っている。安全指導の観点から、児童の登下校に併せて一緒に歩いてくださる方もいる。

ウ 一事徹底の取組

校門前でのあいさつは、たしかに良くなってきたが、友だち同士や校門以外での地域の方へのあいさつは、あまりできていないのではないかと反省がでたことから、3学期の一事徹底の取組の中で、1週間ごとに友だちへのあいさつや地域の方へのあいさつについて、各学級ごとに人数を調べて、啓発活動を実施した。

返 事

授業中を中心に、全校朝会や授賞式の時などの全ての教育活動において、自分の名前を呼ばれたら、「はっきりと大きな声で返事をする。」ことを指導してきた。意識化できるように、返事のない子や声の小さい子については、繰り返し指導した。また、返事だけでなく、日常の会話が単語だけで述語までしっかりと書けない子が多いという実態から、職員間で共通理解して「最後まではっきりと。」言えるように指導を行った。

家庭学習の習慣化

ア 家庭学習強調週間の設定

本校では、学力向上に向けての取り組みとして「家庭学習強調週間」を毎月第2週に設定し、その成果や課題について学期ごとの学級PTAで話し合った。家庭学習アンケートの結果や学級PTAでの話し合いの様子については、養護教諭がまとめて保健だよりで各家庭へ

知らせた。

イ 共通実践項目の設定

各家庭で状況が異なることから，共通実践項目を「家庭学習の手引き」をもとに最小限に設定した。学年部ごとに学習時間（低学年・・・20～30分，中学年・・・40～60分，高学年・・・60分～70分）や10分間の読書のほかに就寝時刻，テレビの視聴やゲームの時間について各学年部ごとに「生活のきまり」を設定し，プリントにして各家庭へ配付した。

ウ 生活習慣の確立

家庭学習アンケート等の結果をもとに，学校保健委員会のテーマを「基本的な生活習慣を見直そう」に設定し，朝食や排便，早寝・早起き，テレビ視聴等について，学級PTA等で具体的な取り組みや課題について話し合いを進めた。

エ 読書活動の推進

- ・ 共通実践として，各家庭で10分間の親子読書
 - ・ 学校においては，毎朝10分間の読書タイムを設定
- 各学年部ごとに読書目標冊数を設定して担任が司書補と連携をとりながら取り組み，成果を上げている。
- ・ 昨年度 年間216冊（児童の平均読書冊数）
 - ・ 本年度 2学期末の段階で平均147冊
 - ・ 本年度も保護者による読み聞かせ会の実施
 - ・ 地域や外部の方による読み聞かせ会（薩摩川内元気塾，緑陰読書 等）

オ 教育相談による家庭との連携

1学期2回，2学期2回，3学期1回の計5回の教育相談週間を設定している。これまで，教育相談は設定はしているものの，なかなか保護者が学校に来て受ける姿が見られなかった。そこで，2年前から全ての保護者が，3回の内最低1回は，必ず教育相談をすることにした。

また，学校側も教育相談期間や時間に余裕を持たせ，保護者の希望をとって相談を実施するようにした。そのことにより，全員が担任と自分の子どものことについて具体的に話し合うことができるようになり，3回とも相談を受ける保護者も見られるようになった。

(2) 成果と今後の課題

保護者が意識して子どもに関わるようになってきたことで，子どもに学習意欲がでてきた事を子ども，保護者共に感じている。その他，保護者からは，子どもの学習に関心をもつようになった事や子どもに関わることでコミュニケーションがとれるようになった事などを成果として捉えている。音読や学習習慣の確立は，継続して取り組んでいくことが，重要であることを確認し合い，今後も地道に活動を続けていきたい。取組を進めていくためには，家庭との連携が重要となってくる。教育相談は，個に応じた具体的な相談を，学校と家庭が互いに相談することができるという点で大変効果があった。「少しでも子どもを伸ばすために」という共通目標に立って，今後も連携を深めていきたい。